

施策評価（令和6年度）

施策評価調査

戦略3 観光・交流戦略			
目指す姿4 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現			
幹事部局名	観光文化スポーツ部	担当課名	スポーツ振興課
評価者	観光文化スポーツ部長	評価確定日	令和6年7月31日

1 施策（目指す姿）のねらい（施策の目的）

スポーツ参画を促進する“Sport in Life”の考え方を踏まえスポーツを行うことが生活習慣の一部となることにより、スポーツを通じて地域に活力とにぎわいがもたらされ、全ての県民が幸福で豊かな生活を営む元気な秋田の実現を目指します。

2 施策の状況

2-1 成果指標の状況及び定量的評価

	施策の方向性、指標名(単位)	年度	2019 (R元)	2020 (R2)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	直近の 達成率	配点	備考
①	【施策の方向性①、③、④】 成人の週1回以上のスポーツ実施率(%) 出典：秋田県スポーツ推進委員協議会「全県体力テスト・スポーツ実態調査」	目標			67.0	68.0	69.0	70.0	69.9%	0	
		実績	50.5	58.5	51.1	47.5					
		達成率			76.3%	69.9%					
②	【施策の方向性③、④】 国体における少年種別の獲得得点(点) 出典：(公財)秋田県スポーツ協会調べ	目標			140.0	160.0	180.0	200.0	91.3%	3	
		実績	81.5	—	214.5	146.0					
		達成率			153.2%	91.3%					
③	【施策の方向性②】 スポーツ合宿等による延べ宿泊者数(人泊) 出典：県調べ	目標			900	1,200	1,400	1,500	140.5%	4	
		実績	—	—	1,430	1,686					
		達成率			158.9%	140.5%					

※ 指標の判定基準

4点：達成率 $\geq 100\%$ 3点：100% $>$ 達成率 $\geq 90\%$ 2点：90% $>$ 達成率 $\geq 80\%$
 1点：80% $>$ 達成率 $\geq 70\%$ 0点：70% $>$ 達成率 n：実績値が未判明

定量的評価結果	計算式
2.33 (e 相当)	4点 $\times$ 1個 = 4点 1点 $\times$ 0個 = 0点 3点 $\times$ 1個 = 3点 0点 $\times$ 1個 = 0点 2点 $\times$ 0個 = 0点
	合計 7点 $\div$ 3個 (判明済み指標) = 2.33

※ 成果指標において実績値が未判明となった指標がある場合には、それを除いて平均点を算出する。

※ 定量的評価の判定基準

a相当：平均点が3.6点以上 b相当：平均点が3.2点以上3.6点未満 c相当：平均点が2.8点以上3.2点未満
 d相当：平均点が2.4点以上2.8点未満 e相当：平均点が2.4点未満

2-3 主な取組状況とその成果

【施策の方向性① ライフステージに応じた多様なスポーツ活動の促進】

- 幅広い世代がいつでも自分の好きなスポーツを行うことができる地域住民のための総合型地域スポーツクラブ（全県67クラブ）の自立的な運営を支援するため、広域スポーツセンターの各地区担当とクラブアドバイザーが38クラブを訪問（計42回）し、実施種目や指導者確保等に関する助言をしたほか、他クラブや行政との連携方法について協議した。
- 指導者派遣による健康教室等の開催により、多くの県民にスポーツ活動実践の場を提供した（47回）。

【施策の方向性② スポーツを通じた地域づくりと交流人口・関係人口の拡大】

- スポーツ大会等開催支援事業により、「2023 北緯40° 秋田内陸リゾートカップ100キロチャレンジマラソン」のほか観光融合型イベント2件、トップアスリート大会5件の開催支援補助を行った。
- 県内のトップスポーツチームと連携し、ユニフォームや試合会場等に本県キャッチコピー等を掲出したほか、スポーツ教室の開催等による地域貢献活動やアウェイ戦での本県PRを実施した（3件）。

【施策の方向性③ 全国・世界で活躍できるアスリートの発掘と育成・強化】

- 将来有望なアスリートの発掘・育成のためのタレント発掘事業により、延べ8名の合格者を決定した。また、選手の育成・強化のため、競技団体が実施する選手強化対策を支援した（延べ41競技団体48種目）。
- ジュニア期からの一貫指導体制を構築するため、県・教育庁・（公財）秋田県スポーツ協会と競技団体が連携し、「チームAKITA強化事業」において、9競技団体を指定して競技力向上を図った。これらの結果、令和5年度は鹿児島国体のレスリング、フェンシング、陸上競技等の少年種別で入賞、また、冬季国スノスキー競技会において、クロスカントリー種目で少年男女が優勝したほか、総合成績でも皇后杯を獲得した。
- （公財）秋田県スポーツ協会内に無料職業紹介窓口を開設し、県内に就職し競技を続けたいアスリートと企業等とのマッチングサポートを実施したほか、トップアスリートを雇用した企業等に対して、競技活動に要する経費の一部を補助した（3件）。

【施策の方向性④ スポーツ活動を支える人材の育成と環境の整備】

- 指導者育成のための研修会を3地区で3回開催（計9回）したほか、スポーツ科学センターが認定した元気アップ運動認定指導者のスキル向上を目的とする研修会を28回実施するとともに、認定指導者が紹介する運動プログラムを撮影し、WEB配信を行った。
- 県有体育施設の運営や各種競技大会等を円滑に開催するため、県が所管している13施設のうち11施設において必要な整備や修繕を行った。また、新県立体育館の整備に向けた基本計画を策定し、PFI法に基づく実施方針の公表等の手続きに着手した。

3 総合評価と評価理由

総合評価	評価理由
e	成果指標の達成率を基にした定量的評価は2.33で「e相当」であることから、総合評価は「e」とする。
	【定性的評価として考慮した点】 ・

4 県民意識調査の結果

質問文	スポーツを通じて地域に活力とにぎわいがもたらされている。					
満足度	調査年度	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	前年度比
満足度	肯定的意見	21.4%	17.9%			△3.5
	十分 (5点)	3.5%	2.1%			△1.4
	おおむね十分 (4点)	17.9%	15.8%			△2.1
	ふつう (3点)	45.5%	38.1%			△7.4
	否定的意見	23.9%	35.9%			+12.0
	やや不十分 (2点)	16.0%	22.2%			+6.2
	不十分 (1点)	7.9%	13.7%			+5.8
	わからない・無回答	9.1%	8.1%			△1.0
	平均点	2.92	2.68			△0.24

※端数処理の関係で満足度の割合の合計は100%にならないものもある。

5 主な課題と今後の対応方針

施策の方向性	課題	今後の対応方針
①	○ 仕事や家事・育児に忙しい働く世代や女性の運動実施率が低い傾向にある。	○ 職場や家庭で手軽に実践できる運動教室の開催や、運動プログラムの動画配信により、いつでも、どこでも、気軽にスポーツに取り組める環境を整備する。
②	○ 国際大会等の開催予定が当面無いため、海外トップアスリートの競技を見たり、関係者と交流する機会を得ることが少なくなっている。 ○ スポーツ大会等の開催について、より観光につながる取組が不足している。	○ 競技団体が今後開催を予定している全国大会等をきっかけとし、地域との連携や交流促進について、検討していく。 ○ スポーツ大会において、県外からの参加者・観戦者に向け、秋田の文化・食などを効果的にPRし、関係人口の拡大につながるよう大会主催者等と連携する。
③	○ 少子化の影響により競技人口が減少し、アスリートの育成・強化に影響がある。	○ 全県から優秀・有望な選手を選抜し、充実した練習環境を提供する「チームAKITA強化・育成システム」の効果的な実施のため、指定競技団体へ新たに指導者養成担当者を配置し、指導者の資質向上を図る。 また、小中学生を対象とした「スポーツ能力測定会・スポーツ体験会」の開催を通じて、スポーツを始めるきっかけ作りや部活動選びに役立ててもらい、スポーツのすそ野拡大に取り組む。
④	○ 部活動地域移行の受け皿の一つと考えられる総合型地域スポーツクラブにおいて、中学生に指導できる体制が整っているクラブは少なく種目も限定的となっている。 ○ 体育施設、設備の老朽化により、突発的な対応を求められる修繕等が増加している。	○ 新たに小中学生を対象とし、複数種目でのスポーツ体験教室をモデル的に実施する総合型地域スポーツクラブを支援し、地域移行の受け皿となる総合型クラブの体制整備を図る。 ○ 安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。

6 政策評価委員会の意見

自己評価「e」をもって妥当とする。